

奏であう人

かな

vol.63



小清水 光さん(山形市)

平成16年生まれ。神奈川県出身・山形市在住。山本学園IT部(e-sports)に昨年末まで在籍。オンラインゲームの山形県初のプロゲーマーとしてプロゲーミングチーム「エヴァ:e」に所属し、高校3年生でメンバー最年少ながら、対戦相手を分析し戦略を練るアナリストを担当する。練習は週6回、1日計10時間におよぶ。県内でもeスポーツ人気が高まるなか、プロとして注目され、自身のプレーを動画サイトで中継・配信する活動も始めた。

山形から世界に広がる夢と未来

現役高校生ながらプロゲーマーとして活躍する小清水さん、環境をはじめとする社会問題の解決を目指す大木さんのお二人に、活動内容や将来の目標、故郷山形の魅力についてお聞きしました。



eスポーツチームの頭脳と言われるアナリストは、ゲームを深く理解し、対戦相手を調査・分析して弱点を調べ上げ、チームで共有し勝利に導く。練習相手の役割も担うため、選手に劣らない対戦能力も不可欠。練習に熱が入ると、食事を忘れてしまうことも。



大木 佑香さん(高島町)

平成15年生まれ。高島町出身・在住。トライ式高等学院山形キャンパス3年。令和2年、文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」が主催する「#せかい部×SDGs探究プロジェクト」に取り組み、その後、10月には高島町で開かれた「知事と若者の地域創生ミーティング」に参加。SDGsの理念に基づき、脱炭素社会に向けて「ゼロカーボンシティ」を宣言してほしいと町長に提案する。町は翌11月に宣言を发布了。



提供:文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」

「#せかい部×SDGs探究プロジェクト」には、全国171名の「高校生レポーター」の一人として参加。国内外で活躍する専門家とオンラインでつながり、「気候変動に対策を」をテーマにレポーター活動を行う。また、そこの学びや発見をSNSで発信するなどし、特別賞を受賞。「SDGs」とは人権・環境・経済など国際社会共通の「持続可能な開発目標」をいう。

まず行動、それが夢や目標を見つけるきっかけに

小清水さんが所属する「エヴァ:e」は、人気アニメ「エヴァンゲリオン」のイメージをゲーム機器に展開したブランドの公式ゲーミングチームです。

「オンラインゲームを競技として個人またはチームで戦う、eスポーツの存在を知ったのは高校1年生、動画サイトがきっかけでした。その後、「エヴァ..e」のメンバー募集をSNSで知り、軽い気持ちで応募したので、書類審査合格の通知が来た時はとても驚きました」。

一方、大木さんが社会問題に関心を持ったきっかけは、小学5年生の時に参加した「とびしまクリンツーリズム」だったそうです。

「昔から魚や深海生物が好きで、海への憧れから参加したのですが、そこで海ごみの問題を初めて知り、衝撃を受けました。それからSDGsにも興味を持ち、いろいろと情報を調べるうちに、世界には環境以外にも様々な問題があることを知りま

した。＼#せかい部×SDGs探究プロジェクト＼は、母が読んでいた新聞記事で知り、応募しました」。

山形を拠点に、世界とコミュニケーション

分野は違っても、山形から県外や海外の人々と交流することで視野や知識が広がったとお二人は言います。「チームに所属してから、ゲームを通して地球の裏側に住むブラジルの方と友人になり、英語で会話することが増えました」。

お互いの考え方や価値観、取り巻く環境の違いを分かりあうことができ、コロナ禍で実際に海外へ行けない状況では、オンラインのつながりは貴重だと実感しました」と小清水さん。大木さんもうなずきます。

「プロジェクトに参加し、オンラインで国内外の様々な人たちに出会い、それぞれの場所で生きているからこそ得られる情報や考え方を教わり、多くの刺激を受けました」。

地方と都市の格差は小さくなり、山形にいても活躍できる環境が整ってきたと感じています」。

山形の文化や自然環境が育んでくれるもの

大木さんが、幼少時代を振り返りこう話します。

「小さい頃に親しんでいた、地元出身の浜田広介の童話から、たとえば竜のように恐れられ避けられる者の悲しみや、弱い立場の人に寄り添うことの大切さを、自然と教わったように思います」。

「私は、練習やアナリスト業務の合間によく滝を見に行きます。厳しいプロの世界ではストレスを抱えやすい。だからこそ、リフレッシュが必要。美しい自然が身近にある山形は、とても恵まれた環境です」と小清水さん。

「世界と比べると日本はeスポーツ後進国。東北の中では盛んな山形から、その魅力を全国に伝えていくことが、使命だと思っています」。

大木さんが応えます。「今までの体験を生かすのは、これからの自分次第。理不尽な思いで苦しむ人をなくすため、社会問題に取り組んでいきたいと思っています」。



広告